

# 検証部会調査(亜急性期入院医療管理料)

亜急性期入院医療管理料を算定している室に入室している患者の主傷病は、骨折、関節症等の整形外科的疾患が多い。脳梗塞が7~10%程度見られる。86%の患者にリハビリテーションが提供されている。

主傷病[亜急性期入院医療管理料1](N=2,552)

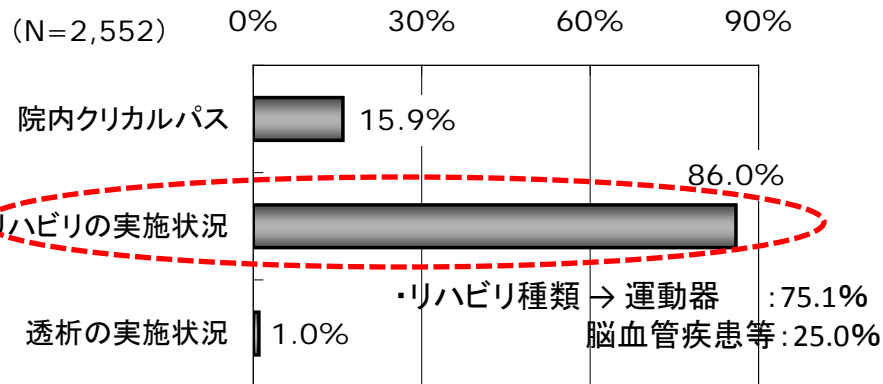
順位	傷病名	割合(全体)
1	骨折	31.2%
2	関節症	9.8%
3	脳梗塞	7.0%
4	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	5.0%
5	脊椎障害(脊椎症を含む)	4.4%
6	肺炎	3.6%
7	その他の損傷及びその他の外因の影響	2.8%
8	脳内出血	2.7%
9	糖尿病	2.2%
10	その他の心疾患	1.9%

主傷病[亜急性期入院医療管理料2](N=414)

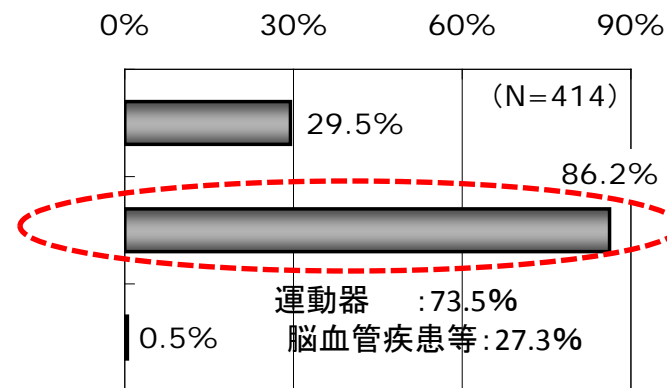
順位	傷病名	割合(全体)
1	骨折	29.0%
2	関節症	11.1%
3	脳梗塞	10.6%
4	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	7.2%
5	その他の損傷及びその他の外因の影響	4.1%
6	脊椎障害(脊椎症を含む)	3.9%
7	肩の傷害<損傷>	2.9%
8	脳内出血	2.7%
9	肺炎	2.7%
10	腰痛症及び坐骨神経痛	2.2%

院内クリニカルパス、リハビリ、透析の実施状況(図表5-32)

[亜急性期入院医療管理料1]



[亜急性期入院医療管理料2]



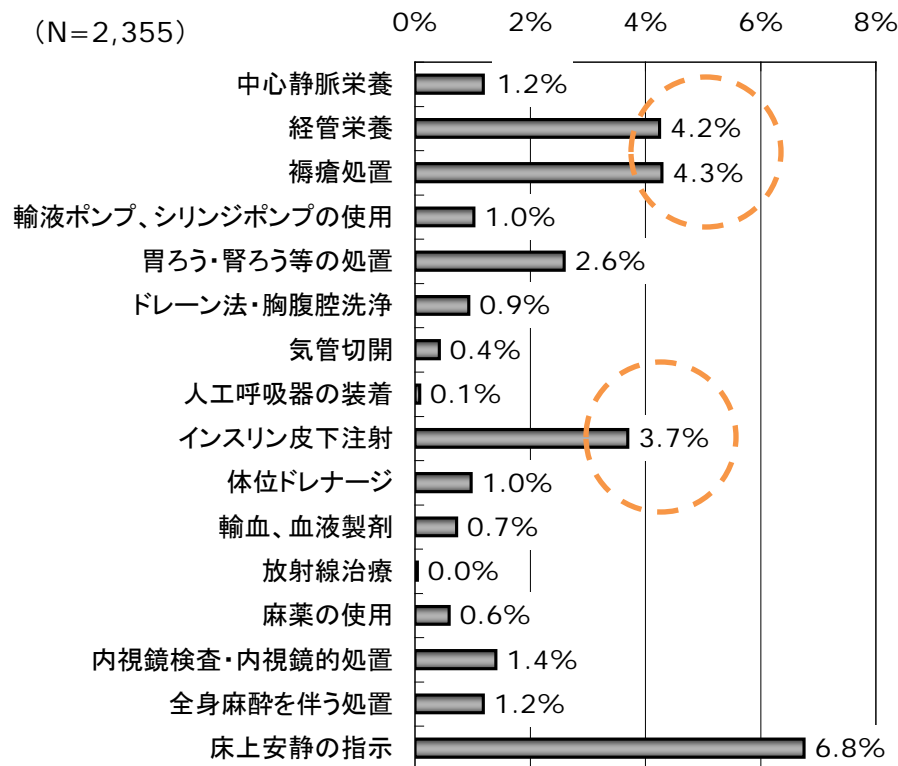
出典:平成21年度検証部会調査

# 検証部会調査(亜急性期入院医療管理料)

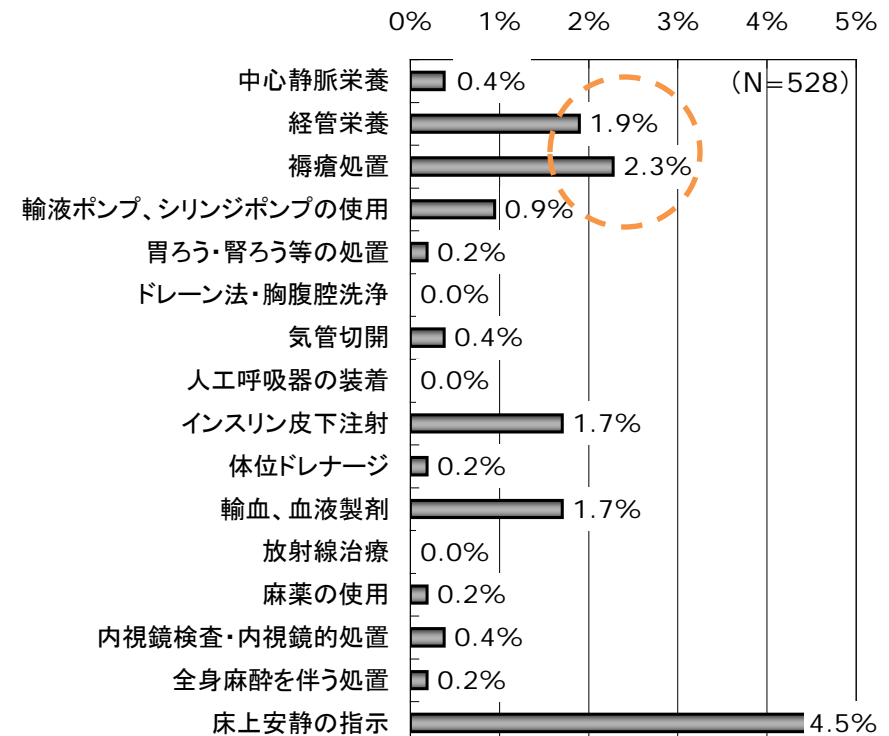
入室中の患者に対する医療処置等の状況を見ると、経管栄養や褥瘡処置、インスリン皮下注射等を行っている患者が4%程度見られる。

○ 入室中の患者の状況(図表3-85)

[亜急性期入院医療管理料1]



[亜急性期入院医療管理料2]

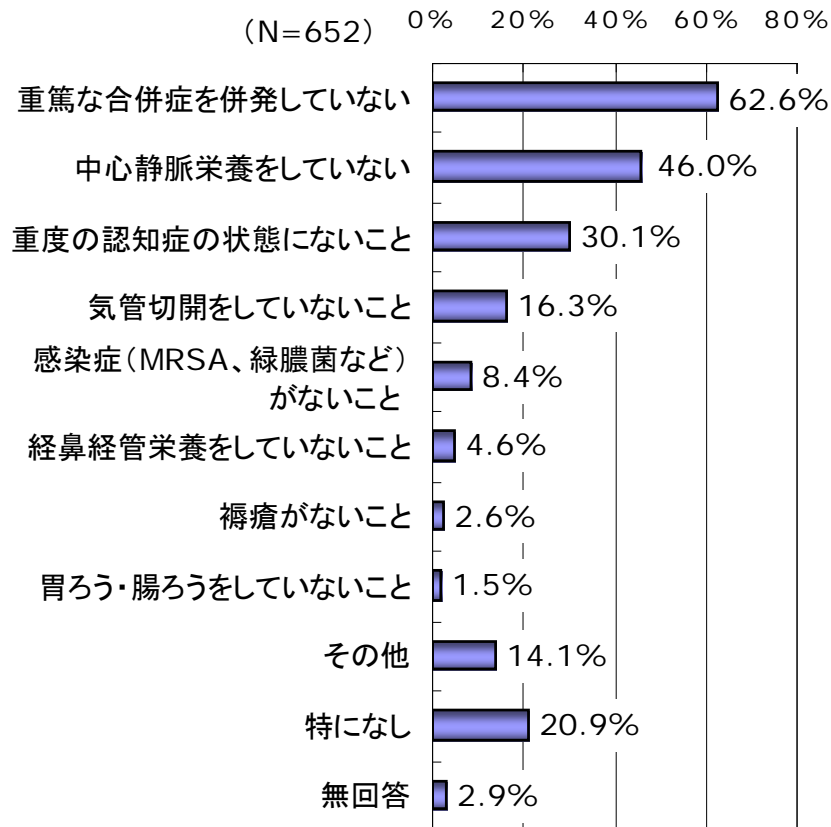


出典:平成21年度検証部会調査

# 検証部会調査(回復期リハビリテーション病棟入院料)

回復期リハビリテーション病棟では、中心静脈等を有する患者の受け入れをしていない場合も見られる。

## ・入棟患者の受け入れの際に考慮している点 (図表3-12)[複数回答]



## ・入棟患者の受け入れの判断をしている職種 (図表3-13)[複数回答]

